神田外語大学
児童英語教育研究センター
Center for Teaching English to Children (CTEC)
vol.47
NOV. 2026

児童英語教員養成課程修了
先輩インタビュー＃2【小学校専科教員＆私立小学校教員】

児童英語教員養成課程、小学校免許課程を修了をし、小学校の先生として活躍されている卒業生へ以下の内容でインタビューを行いました。

① 小学校教諭を目指した動機・決意後の行動
② 小学校教諭免許取得課程でのエピソード
③ 小学校教諭としてのやりがい
④ 在学中について
⑤ 後輩へのメッセージ

2回目の今回は、小学校専科教員、私立小学校で担任教員として活躍されている先輩のインタビューをご紹介します。担当学年は、今年度11月時点です。

菅野　柊 さん

（2024年度国際コミュニケーション学科卒業　現さいたま市立片柳小学校専科教員）



① 児童英語教員養成課程で身につけた専門性を活かして、子どもたちの外国語学習の始まり(小学校)に携わりたいと思いました。なるべく多くの現場を目にしたいと思い、アメリカや船橋市内小学校での実習に参加しました。また、小学校教育とはどのようなものなのか、子どもたちは小学校でどんなことを学ぶのか知っておきたいと思い、小学校教諭免許を取得しました。

② 全教科の知識を満遍なく身につけることや、同時に複数教科の模擬授業の準備を進めることが大変でしたが、お互いに刺激し合える仲間と一生懸命一緒に考えたり、練習して、やり切れたことがとてもやりがいに感じました。

③ 外国語に対して子どもが以前より前向きになることや、成長した姿や頑張っている姿が見られることです。また、何気ない日常の会話の中で学習した言葉を子どもが口にしている時にもやりがいを感じます。

④ 音から始める外国語の指導と学習指導要領の内容の理解をできていたこと、アルファベットジングル、フォニックスの指導、特別支援に関する学習、指導案の作成の仕方を理解できていたことが現在に活かされている。

⑤ 「自分が興味あることを見つけることや、見つけたものに夢中になることに、たくさんの時間を注いでください。」

金　永純 さん

（2021年度英米語学科卒業　現学校法人太田国際学園　ぐんま国際アカデミー初等部教員・3年生担任）



① 子どもの認知や英語教育について興味があり、児童英語教員養成課程を履修しました。「教える仕事」に魅力を感じた1番のきっかけは、「児童英語教育実習(船橋)」です。授業実践の機会を多く頂き、児童が楽しく授業を受けている姿を見て、先生になりたいと思いました。その後一度就職しましたが、やはり英語を使用して仕事がしたいと感じ、現在に至りました。教員免許を取得するために短期大学に通い、採用試験対策の勉強をしながら、私立学校の情報収集や、見学も同時進行で行いました。

② 他教科の指導法や教育原理、担任としての学級経営や、いじめ、不登校などについても一から学び、授業数や実習の数など(特支・介護・本実習)は大変で、いざ自分が教師として現場でできるだろうか、という不安やプレッシャーを感じました。単元計画の作成では、他の受講生と一つの授業を作り上げることにやりがいを感じ、その経験は、実習の今でも役に立っています。

③ 生活面では、児童自ら行動できるようになってきていて、児童同士での声かけも活発になってきている姿がとても嬉しいです。授業では、自分が考えた授業での問いが、児童の興味に合致し、議論が活発になった時や、あまり発言できていない児童が、授業で積極的に発言した時は嬉しかったです。学校の特性上、普段から英語を頻繁に使う環境のため、自分の英語力も常に磨かなければならないため、海外の小学校でのTeacher Talkを勉強しています。

⑤ 在学中、正しい発音を身につけられたことは、現在の自分の強みになっています。児童英語の活動では、ボランティアでの読み聞かせ等の活動、神田外語キッズクラブでのアルバイト等のおかげで、子どもたちと接することにギャップを感じることなく関わることができ、在学中に子どもとたくさん関わる経験ができたことは、とても良かったと思います。生活面では、子どもたちの「今」を知っておくこと、子ども目線で本や遊び、流行しているものに触れておけばよかったと思います。学業面では、授業の単元全体を見通して、児童に何を身につけてほしいのかゴールを決め、逆算して授業を組み立てる練習や、「何のために、どの場面で、どの方法を使うのが一番効果的なのか」を考えられるよう、ICTの活用についても学んでおけばよかったと思います。

⑥ 「現在、少しでも学校の先生に興味があるのであれば、ぜひ教員免許を取得しておくことをおすすめします。私自身、一度就職してから小学校教員を目指しましたが、今振り返ると、もっと早く先生になっておけばよかったと少し後悔しています。せめて違う進路を選択していても免許は持っておくとスムーズだと思います。すでに教員を目指している方には、学生のうちにたくさん遊び、いろいろな場所へ出かけ、本を読むなど、さまざまな経験を積んでおくことをおすすめします。子どもたちは、自分たちが知らない世界の話や、先生自身の経験談にとても興味を持ってくれます。そうした経験が、子どもたちとの会話や授業の中で活きることも多くあります。学業やアルバイトだけでなく、学生のうちにさまざまなことに挑戦し、自分自身の経験の幅を広げておくとよいと思います。実際に働いてみると、もちろん大変なこともありますが、毎日子どもたちと過ごす生活はとても楽しいです。仕事中に子どもたちと本気で遊んだり、冗談を言い合って笑ったりできる職場は、なかなかないと思います。」

児童英語教員養成課程修了
先輩インタビュー＃3【公立小学校教員】

続いては、公立小学校で担任教員として活躍されている先輩のインタビューをご紹介します。担当学年は、今年度11月時点です。

① 小学校教諭を目指した動機・決意後の行動
② 小学校教諭免許取得課程でのエピソード
③ 小学校教諭としてのやりがい
④ 在学中について
⑤ 後輩へのメッセージ

米沢　拓海　さん

（2022年度英米語学科卒業　現成田市立成田小学校教員・3年生担任）



① 児童英語教員養成課程で得た知識や技能を生かせる仕事がしてみたかったことと、子どもの言語発達、認知発達に興味があり、それを間近で観察できる仕事である小学校教員を志しました。大学卒業後に、短期大学で必要な単位を取得しました。

② 回答なし

③ 子どもの成長を間近で観察でき、自分の知識や技能、経験を現場に還元できることにやりがいを感じています。事務業務、行事の準備と普段の授業準備との両立などに大変さを感じることもあります。

④ 在学中、Dyslexia，Autismの講読や英米語学科の必修授業(プレゼンなど)が人前に立つこと、色々な人とか関わることへの自信につながっています。海外渡航、又は色々な国籍の人と関わることで、様々な価値観や考え方に触れられ、多様な児童に対する理解がしやすくなっていると感じます。在学中に留学経験をした方がよかったと感じています。

⑤ 「今自分がやりたいこと、好奇心のままに動いてみてください！！きっと楽しい未来が待っています！」

福田　光太郎　さん

（2024年度イベロアメリカ言語学科卒業　現市川市立鬼高小学校教員・4年生担任）



① 在学中、教職課程を履修中に、児童英語について知り、児童英語教員養成課程を履修し始め、「児童英語教育実習（船橋）」に参加した経験から、小学校教員の魅力を感じたことがきっかけとなり、小学校教員を目指しました。その後、小学校教員免許取得のため、短期大学へ進みました。

② 苦手な科目についても取り組まなけらばならないことが大変でした。国語や道徳、特別活動などの正解のない科目の指導方法については、正解のないものだからこそ面白いと思いました。

③ 担任として毎日そのクラスの児童と関わることで、日々の変化に気づけることにとてもやりがいを感じています。

④ 提出物の期限を守る意識を持つこと、教材作成や事務作業でエクセルをかなり使うので、在学中に使い方を学んでおけばよかったと思います。

⑤ 「決して楽な道ではないですが、やることに意味がありますし、教員にならなくてもここで得られた知識経験は今後どこかで必ず役に立つと思うので楽しみながら取り組んでください！」

課程履修相談

CTECでは、履修登録時期だけではなく、教職員への課程履修相談ができます。

- 留学を予定しているけれど今後の課程のプランがわからない
- 児童英語関連の職業に興味がある、等

個別の相談にも対応可能です！
希望をする場合には、CTEC　HP掲載の開室スケジュールを参照の上、開室時間中にCTECへ来室してください。
＊担当者不在等で対応ができない場合もあります。
メールにて日時等もご相談可能ですので、適宜お問い合わせください。



柿：persimmon

For more information

[TEL]　043-273-1579
[E-mail] ctec-kuis@ml.kandagaigo.ac.jp
[URL]https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/labo/ctec/

KUIS_CTEC

編集：佐々木